

平成 22 年度 第 2 回杉並区地域自立支援協議会 次第

1 開会挨拶

2 会長挨拶

3 報告

(1) 区からの報告

- ・ 清掃業務における障害者雇用のあり方に関する調査について
- ・ 発達障害者の社会適応支援事業の実施状況について
- ・ 歯科医療センター移転に伴う、オブリガードの事務所移転について
- ・ 第 2 期障害者福祉計画の進捗状況について
- ・ 平成 22 年度杉並区障害者基礎調査について
- ・ 質疑応答

(2) 地域のネットワークの取り組み状況について

(3) 地域移行促進部会の進捗状況

- ・ 精神グループと知的グループから(意見交換会グループ討議概要など)
- ・ 私の健康ノートの試行から
- ・ 質疑応答

(4) 相談支援部会の進捗状況

- ・ Bグループ(グループの支援)から(GH 世話人連絡会への参加と GH 見学会など)
- ・ Cグループ(ケア 24 との交流)から(ケア 24 との交流会について)
- ・ Aグループ(学齢期の家庭支援)から(済美教育センター見学、永福学園見学、済美養護の先生アンケート実施などから見てきた相談支援活動の家庭支援の要点について)
- ・ 質疑応答

4 討議 テーマ：学齢期の家庭支援と相談支援事業(所)の役割

(1) テーマの論点について

グループ討議で見えてきた学齢期の現状について

- ・ 学齢期の家庭ではサービス利用の偏りがあり、利用していない家庭では疲弊の悪循環が見られる。
- ・ 支援者や学校でも家庭へ介入しにくい現状があり、孤立的な状況が見られる。
- ・ 乳幼児期から学齢期・成人期にわたる一貫した支援がないため、青年期から成人期の生活支援で困難ケースが多く見られる。

以上のような状況の中で、相談支援事業(所)が、学齢期の家庭支援に対してどこまで役割を担えるかが課題として上がっている。

このことについて、Aグループの学校等見学のアンケートやAグループ取組み、課題解決策の提案(昨年度、委員からいただいた提案)を参考に、相談支援事業(所)が支援できるところと他と連携して支援できるところについて具体的な意見をいただき、相談支援事業所が担えるところの整理を図りたい。

(2) 討議

5 その他

次回 日程等 予定日 3月中旬

6 閉会

【配付資料】	資料 1	区からの報告事項
	資料 2	杉並区内の障害者に関わる連絡会議体
	資料 3	地域移行促進部会 意見交換会の報告
	資料 4	わたしの健康ノートの試行について
	資料 5 - 1	自立支援協議会相談支援部会活動報告(7月～11月)及び活動予定
	資料 5 - 2	平成 22 年度杉並区自立支援協議会相談支援部会 ニュースレター
	資料 6	学齢期における家庭支援について(相談支援部会 Aグループ)
	資料 7	学齢期の障害児をもつ家庭支援で、考えていくことや考えられることは？
	資料 8	済美養護学校の先生向けアンケート結果
	参考 1	学齢期の生活支援について(昨年度、委員からいただいた解決策の提案)
	参考 2	杉並区障害児の関連機関等
	参考 3	障害者のてびき(抜粋)
	別冊	杉並区障害者計画・第 2 期障害福祉計画 平成 21 年度進捗状況